

新潟大学大学院自然科学研究科物質量子科学センター 低温室



平成 16 年 2 月稼動。自然科学研究科物質生産棟は液化機の導入を前提として設計されていて、建物内にはあらかじめステンレスのヘリウム回収配管が設置されている。



液化用圧縮機

ガスバック

回収用圧縮機

ヘリウム長尺カードル

| | | | |
|--------------|--|--------|-----------------------|
| ヘリウム液化機 | Linde TCF50 | ガス処理能力 | |
| ヘリウム液化用圧縮機 | ケーザー ES300 | ヘリウム | 1826.4 m ³ |
| ヘリウム回収用圧縮機 | GreenField C5N210GX | 窒素 | 43.9 m ³ |
| 液化ヘリウム貯槽 | (株)ジェック東理社 2000L | 貯蔵能力 | |
| 回収ヘリウム用ガスバック | 31 m ³ | ヘリウム | 3723 m ³ |
| ヘリウム長尺カードル | 住金機工株式会社 0.505 m ³ ×30 本 (H16.2 20 本設置、H19.4 10 本増設) | 窒素 | 686 m ³ |

『物質量子センターだより』 毎年 3 月刊行 (平成 17 年より)
<http://www.niigata-u.ac.jp/helln2>
 〒950-2181 新潟市西区五十嵐 2 の町 8050

新潟大学大学院自然科学研究科
 物質量子科学センター 低温室